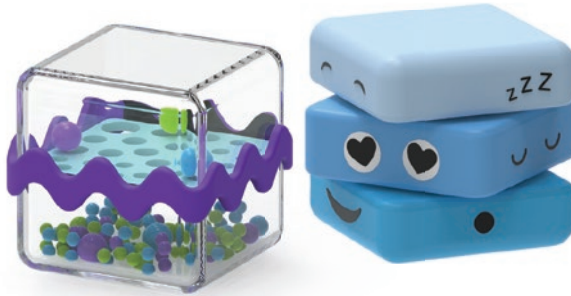


Cool Down Cubes Sensory Fidget Set

クールダウンキューブセット



4つのユニークな感覚遊びでリラックスしましょう！

やわらかいキューブをぎゅっと押しつぶしたり、3層のフィジेटスピナーを回して表情を入れ替えたり、ビーズをふるいにかけて、転がして迷路を楽しむことができます。

キューブの顔は、楽しい、不安、怖い、悲しいなど様々な感情を表現しており、子どもたちが感情を整理しながら落ち着きを取り戻すための手助けをします。

このおもちゃは、社会性と情動性の学習(SEL)と指先を使う遊びを組み合わせた多機能なアイテムです。リビングやリラックススペース、外出先など、いつでもどこでもひと休みしたいときにぴったりです！

感情の名前



楽しい



不安



怖い



悲しい



イライラ



おどける



眠い



愛おしい

- ・まずは、子どもに4つのキューブでたっぷり遊ぶ時間を与えましょう。どのキューブが一番好きですか？どのキューブが一番満足感を与えてくれますか？これらの質問の答えを知ること、子どもの自己管理や感情のコントロールに最適なツールを見つける近道になります！
- ・子どもが強い感情を抱いているときは、好きなキューブを選び、落ち着ける場所で遊ぶよう促しましょう。励ましの言葉をかけながら導いてあげてください。例えば、やわらかいフォームキューブを押しつぶすときには「深呼吸してごらん。」と伝え、つぶしたキューブをゆっくりと元の形に戻しながら「力を抜いて、ゆっくり息を吐いてみて。」と声をかけましょう。ふるいや迷路のキューブで遊ぶときは、集中力や手と目の協調運動を必要とするタスクに意識を向けるようにします。上手にできたら「すごいね！できたね！」と褒めてあげましょう。この時間は、子どもが自分の気持ちについて話す良い機会にもなります。「どうしてそう感じるの？」と尋ねることで、キューブたちが気持ちを落ち着かせるお手伝いをしてくれるでしょう！
- ・「感情の名前」の図を見ましょう。一つずつ名前を言いながら指さします。その後、ランダムに感情を伝え、その感情を表したキューブの顔を見つけてもらいます。また、その感情を演じることができのでしょうか？試してみましょう！
- ・子どもに、今の感情を聞いてみましょう。「なぜそう感じるの？」と尋ねてみましょう。
- ・ランダムに感情を選び、その感情のキューブを見せて、子どもに「同じ気持ちになったことはあるかな？」と聞いてみましょう。
- ・特定の感情が生まれるような短いストーリーを作って話してみましょう。例えば、「メアリーは恥ずかしがり屋で、家族や親しい友達と話すのは好きですが大勢の前は苦手です。でも、今日はクラスみんなの前で発表をする番が回ってきてしまいました。メアリーはどんな気持ちになりますか？」子どもに、該当する感情(怖いまたは不安など)を表すキューブの顔を持ち上げてもらいましょう。
- ・次の状況に当てはまる感情を言葉にしたり、該当するキューブを見つけたりしましょう。
 - ・新しいことに挑戦するとき、どんな気持ちになる？
 - ・誰かを助けると、どんな気持ちになる？
 - ・スコットはお気に入りのおもちゃをレストランに忘れてしまいました。彼はどんな気持ちになる？
 - ・エイミーはおじいちゃん・おばあちゃんの家で普段より遅くまで起きていました。今、学校の準備をしなくてははいけません。彼女はどんな気持ちになる？



発売元：
株式会社ドリームブロッサム
〒880-0123 宮崎県宮崎市芳土607
TEL: 0985-72-6622
www.dreamblossom.jp